



2021年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(非連結)

2020年10月29日

上場会社名 株式会社PALTAC

上場取引所 東

コード番号 8283 URL <http://www.paltac.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 糟谷 誠一

問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員 経営企画室長 (氏名) 嶋田 政治

TEL 06-4793-1090

四半期報告書提出予定日 2020年11月12日

配当支払開始予定日

2020年12月1日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト・報道機関向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第2四半期の業績(2020年4月1日～2020年9月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第2四半期	525,595	3.6	13,045	5.4	14,313	5.4	9,907	4.7
2020年3月期第2四半期	544,986	4.4	13,794	0.3	15,126	0.7	10,399	1.4

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第2四半期	155.91	
2020年3月期第2四半期	163.65	

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年3月期第2四半期	433,209	228,459	52.7	3,595.12
2020年3月期	418,756	218,297	52.1	3,435.20

(参考)自己資本 2021年3月期第2四半期 228,459百万円 2020年3月期 218,297百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期		35.00		35.00	70.00
2021年3月期		36.00			
2021年3月期(予想)				36.00	72.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年3月期の業績予想(2020年4月1日～2021年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,047,000	0.1	25,000	1.2	27,500	0.7	19,000	25.2	298.99

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年3月期2Q	63,553,485 株	2020年3月期	63,553,485 株
期末自己株式数	2021年3月期2Q	6,287 株	2020年3月期	6,287 株
期中平均株式数(四半期累計)	2021年3月期2Q	63,547,198 株	2020年3月期2Q	63,547,225 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、〔添付資料〕3ページ「(3)業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(四半期決算補足説明資料の入手方法)

当社は、2020年11月10日(火)に機関投資家・アナリスト及び報道機関向けに四半期決算説明会(オンライン)を開催する予定にしております。四半期決算補足説明資料につきましては、四半期決算発表後に当社ホームページ(<http://www.paltac.co.jp/tomorrow/index.html>)に掲載を予定しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
第2四半期累計期間	6
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
3. 補足情報	8
(1) 生産、受注及び販売の状況	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症拡大の環境下において、緊急事態宣言の発出に伴う休業要請、外出自粛要請などにより経済活動が収縮し、景気は急激に悪化いたしました。宣言解除後は、経済活動が段階的に再開しているものの、感染再拡大の懸念も依然として続いており、先行きは極めて不透明な状況で推移いたしました。

化粧品・日用品、一般用医薬品業界においては、衛生面に対する意識の向上に伴う、マスクや手洗石鹸、消毒液等、衛生関連商品の需要増加は続いているものの、感染再拡大の懸念から、レジャーに伴う外出など人出が完全に戻り切らない中で、メイクアップや整髪料などの化粧品の需要は低下した状況にあります。また、現時点で外国人観光客の往来再開には目処がたっていないことから、外国人観光客に人気が高かったフェイスマスクなどの、いわゆるインバウンド商材の需要についても、大きく低下した状態が継続しております。

このような状況のなか、当社は、従業員の安全を守ることが事業継続の要であるとの考えに立ち、労働環境の整備や衛生管理の徹底に努め、当社の社会的役割である生活必需品の供給を継続しております。

また、今回の感染症拡大に伴い、流通全体の生産性の向上に対する社会的ニーズはさらに上昇しており、サプライチェーン全体の最適化・効率化を目指した取組みを最終年度となる中期経営計画の中で継続して行っております。

新物流モデルへの投資は、前事業年度までにほぼ完了し、当事業年度はセンターを稼働させるなかで、効率的に運用するノウハウの蓄積に努めております。同時に、企業間の相互協力による「コストの利益化」や、生活者に商品がわたる店頭を重視し、商談内容の実現率を向上させるとともに、店頭における情報を活用・フィードバックすることで商談の品質向上を図る「売れる仕組みづくり」について、昨年10月に設置した専門部署を中心に取組みを進めております。

特に「売れる仕組みづくり」では、商談内容と店頭情報の連携サイクルをより早く回すことで市場の変化をいち早く捉え、新しい生活様式や天候不順など従来のマーチャンダイジングが通用しづらい環境下においても有効な商品提案に向けて取組んでおります。

これらの結果、当第2四半期累計期間の業績は、売上高5,255億95百万円（前年同期比3.6%減）、営業利益130億45百万円（前年同期比5.4%減）、経常利益143億13百万円（前年同期比5.4%減）、四半期純利益99億7百万円（前年同期比4.7%減）となりました。

なお、当社のセグメント報告は、単一セグメントのためセグメント別の記載を省略しております。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当第2四半期会計期間末の資産は、前事業年度末に比べて144億52百万円増加し、4,332億9百万円となりました。これは主に、現金及び預金が70億55百万円、受取手形及び売掛金が27億82百万円、商品及び製品が30億43百万円増加したことによるものであります。

(負債)

当第2四半期会計期間末の負債は、前事業年度末に比べて42億89百万円増加し、2,047億49百万円となりました。これは主に、支払手形及び買掛金が72億91百万円増加したことや、未払法人税等が4億4百万円減少したことによるものであります。

(純資産)

当第2四半期会計期間末の純資産は、前事業年度末に比べて101億62百万円増加し、2,284億59百万円となりました。これは主に、利益剰余金が76億83百万円、その他有価証券評価差額金が24億87百万円増加したことによるものであります。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)の残高は、前事業年度末より70億55百万円増加し、296億30百万円となりました。

当第2四半期累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は135億19百万円(前年同期は22億54百万円の支出)となりました。これは主に、税引前四半期純利益143億72百万円、減価償却費28億23百万円、売上債権の増加額27億82百万円、たな卸資産の増加額30億43百万円、仕入債務の増加額78億83百万円、法人税等の支払額46億20百万円によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は18億86百万円(前年同期比4億56百万円の減少)となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出23億26百万円、有形固定資産の売却による収入3億96百万円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は45億78百万円(前年同期は45億83百万円の収入)となりました。これは主に、長期借入金の返済による支出22億76百万円、配当金の支払額22億24百万円によるものであります。

(3)業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年3月期の業績予想につきましては、2020年7月29日公表の予想に変更はありません。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位:百万円)

	前事業年度 (2020年3月31日)	当第2四半期会計期間 (2020年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	22,575	29,630
受取手形及び売掛金	197,229	200,011
商品及び製品	43,398	46,441
その他	16,787	16,655
貸倒引当金	△7	△7
流動資産合計	279,982	292,731
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	45,963	44,728
土地	47,401	47,054
その他(純額)	21,614	21,262
有形固定資産合計	114,979	113,045
無形固定資産	911	788
投資その他の資産		
投資その他の資産	22,888	26,647
貸倒引当金	△4	△4
投資その他の資産合計	22,883	26,643
固定資産合計	138,774	140,477
資産合計	418,756	433,209
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	159,694	166,985
未払法人税等	5,046	4,641
賞与引当金	1,601	1,476
返品調整引当金	178	170
その他	24,412	20,916
流動負債合計	190,932	194,190
固定負債		
退職給付引当金	2,548	2,596
その他	6,977	7,961
固定負債合計	9,526	10,558
負債合計	200,459	204,749

(単位:百万円)

	前事業年度 (2020年3月31日)	当第2四半期会計期間 (2020年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	15,869	15,869
資本剰余金	27,827	27,827
利益剰余金	164,770	172,453
自己株式	△9	△9
株主資本合計	208,457	216,141
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	9,831	12,319
繰延ヘッジ損益	8	△0
評価・換算差額等合計	9,839	12,318
純資産合計	218,297	228,459
負債純資産合計	418,756	433,209

(2) 四半期損益計算書
(第2四半期累計期間)

(単位:百万円)

	前第2四半期累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
売上高	544,986	525,595
売上原価	503,181	484,777
売上総利益	41,804	40,817
販売費及び一般管理費	28,009	27,772
営業利益	13,794	13,045
営業外収益		
受取配当金	177	183
情報提供料収入	917	859
不動産賃貸料	67	58
その他	240	212
営業外収益合計	1,403	1,313
営業外費用		
支払利息	48	23
不動産賃貸費用	18	16
その他	3	4
営業外費用合計	71	45
経常利益	15,126	14,313
特別利益		
固定資産売却益	—	9
投資有価証券売却益	2	54
特別利益合計	2	64
特別損失		
固定資産除却損	1	5
減損損失	18	—
投資有価証券売却損	6	—
ゴルフ会員権評価損	2	—
特別損失合計	28	5
税引前四半期純利益	15,100	14,372
法人税、住民税及び事業税	4,436	4,229
法人税等調整額	264	235
法人税等合計	4,700	4,464
四半期純利益	10,399	9,907

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前第2四半期累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益	15,100	14,372
減価償却費	2,379	2,823
減損損失	18	—
貸倒引当金の増減額(△は減少)	13	△0
賞与引当金の増減額(△は減少)	△235	△124
返品調整引当金の増減額(△は減少)	△5	△7
退職給付引当金の増減額(△は減少)	55	89
受取利息及び受取配当金	△177	△183
支払利息	48	23
投資有価証券売却損益(△は益)	4	△54
売上債権の増減額(△は増加)	△29,911	△2,782
たな卸資産の増減額(△は増加)	434	△3,043
仕入債務の増減額(△は減少)	15,088	7,883
未払消費税等の増減額(△は減少)	921	901
その他	△1,441	△1,919
小計	2,292	17,977
利息及び配当金の受取額	177	183
利息の支払額	△45	△20
法人税等の支払額	△4,679	△4,620
営業活動によるキャッシュ・フロー	△2,254	13,519
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△3,755	△2,326
有形固定資産の売却による収入	1,442	396
無形固定資産の取得による支出	△101	△42
投資有価証券の取得による支出	△54	△50
投資有価証券の売却による収入	177	156
その他	△50	△18
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,342	△1,886
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	10,000	—
長期借入金の返済による支出	△3,174	△2,276
リース債務の返済による支出	△81	△77
自己株式の取得による支出	△0	—
配当金の支払額	△2,160	△2,224
財務活動によるキャッシュ・フロー	4,583	△4,578
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△13	7,055
現金及び現金同等物の期首残高	18,359	22,575
現金及び現金同等物の四半期末残高	18,345	29,630

(4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

3. 補足情報

(1) 生産、受注及び販売の状況

(販売実績)

①当第2四半期累計期間における販売実績を商品分類別に示すと、次のとおりであります。

商品分類別の名称	当第2四半期累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)	対前年同四半期増減率 (%)
	金額(百万円)	
化粧品	117,901	△15.8
日用品	244,053	1.8
医薬品	62,878	△12.9
健康・衛生関連品	93,389	9.4
その他	7,372	△2.5
合計	525,595	△3.6

(注) 上記の金額には、消費税等を含めておりません。

②当第2四半期累計期間における販売実績を販売先業態別に示すと、次のとおりであります。

販売先業態別の名称		当第2四半期累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)	対前年同四半期増減率 (%)
		金額(百万円)	
Drug	ドラッグストア	331,087	△3.6
HC	ホームセンター	52,937	1.4
DS、Su.C	ディスカウントストア、ス ーパーセンター	35,052	△13.1
CVS	コンビニエンスストア	37,570	△1.8
SM、SSM	スーパーマーケット、ス ーパースーパーマーケット	26,777	△1.4
GMS	ゼネラルマーチャングダイジ ングストア	17,526	△13.6
その他	輸出、その他	24,643	5.5
合計		525,595	△3.6

(注) 上記の金額には、消費税等を含めておりません。